

病害虫防除技術情報第15号

令和3年9月17日
三重県病害虫防除所

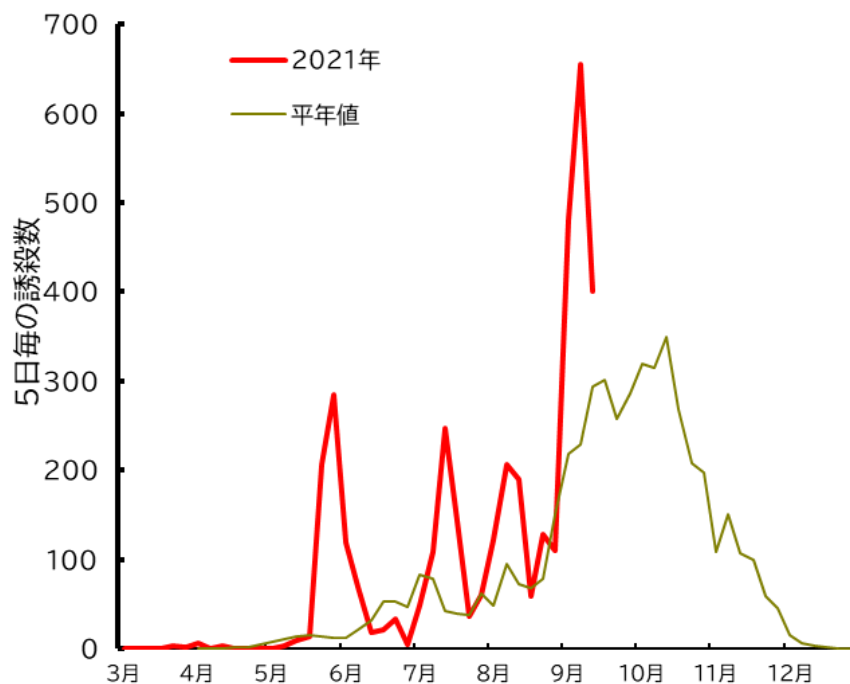
ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数が急増しています

1. 対象作物：ダイズ、野菜類（イチゴ、サトイモ、アブラナ科野菜など）、花き類（キクなど）
2. 対象病害虫名： ハスモンヨトウ
3. 発生状況と今後の予測

県予察ほ（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数は、9月第1半旬から第3半旬で1,535頭（平年741.8頭）と平年のおよそ2倍と多い状況です（図）。9月の病害虫防除所によるダイズの巡回調査では、白変葉発生箇所数（a当たり）が、2.4（平年0.5）と多く確認されました。

1か月予報（9月16日・名古屋地方气象台発表）によると、気温は高いと予想されています。

このような状況から、ハスモンヨトウの発生に好適な条件であると考えられます。今後の被害の発生に注意が必要です。



（図）フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
（調査場所：松阪市嬉野川北町）

4. 防除対策

- (1) 老齢になるに従って薬剤の効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除してください。
- (2) 多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
- (3) 施設では、開口部に防虫ネットを張って、成虫の侵入や産卵を防止してください。
- (4) ダイズでは、圃場をこまめに見回り、白変葉等の発生に注意を払い、初期防除に努めてください。
- (5) 野菜類では、育苗期や定植直後に発生すると被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
- (6) 花き類では、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、登録のある農薬で防除してください。
- (7) 防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。

<https://www.nouyaku sys.com/noyaku/user/top/mie>



(写真) ハスモンヨトウ幼虫

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。